

愛知県での支援活動 報告

愛知県 被災者支援センター とは

県が4つのNPOへ委託してできた

- 平成23年6月13日設置（東大手庁舎1階）
- スタッフ：センター長4名（NPO代表4名）
常勤4名、非常勤1名
事務局ボランティア17名（日替わり）
新聞ボランティア 15名（2チーム）
その他ボランティア約30名（交流会託児・定期便発送等）
- 協働：愛知県社会福祉協議会、コープあいち、愛知県弁護士会、愛知県司法書士会など

受入被災者の 状況について

全国の人的被害の状況

- 死者 15,863名
※阪神淡路大震災 6,434名
- 行方不明者 2,949名
※阪神淡路大震災 3名
- 合計 18,812名(計20,430名)
※阪神淡路大震災 6,437名
- 関連死者 **1,618名** (24年3月末)
※阪神淡路大震災 921名(死者に含む)

24年6月20日

**愛知県に
544世帯
1,253名**

◆全国で20位前後

今も微増傾向

平成24年5月31日現在

年齢別に見ると

- 0歳～12歳 351名 28% (0歳～小6)
- 13歳～18歳 66名 5% (中高校生)
- 19歳～29歳 172名 14%
- 30歳～39歳 268名 21%
- 40歳～49歳 143名 11%
- 50歳～59歳 72名 6%
- 60歳以上 181名 14%

出身県は？

- ・福島県 811人 65%
 - ・宮城県 237人 19%
 - ・岩手県 82人 7%
 - ・その他 9% (青森県、茨城県、栃木県、
千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県など)
- 平成24年5月31日現在

避難者の県下の分布

- 名古屋市 477名 38%
- 豊橋市 115名 9%
- 豊田市 91名 7%
- 岡崎市・小牧市・一宮市・安城市・西尾市・東海市・蒲郡市 夫々数%
- 不在の市町村も少々有り

平成23年度の 主な活動

- 市町村訪問
- 生活支援品の提供(34品目1780点)
- 交流会の開催(28回348世帯1004名参加)
- 月2回の情報定期便・臨時便の提供(27回)
- 招待イベントの案内(毎月10点以上)
- 市町村担当者会議(3回)
- 原発事故賠償制度説明会 (4回)
- パーソナル支援(月2回会議と交流会への専門家の派遣など)

※こんな中から見えてきた活動がある。

お手紙プロジェクト

平成23年11月18日

井川さんからのお手紙から始まった

- 毎日毎日生活するのに一生懸命で忘れていたけど、ふと試ってみたら心が疲れていて・・・誰もいなくて、何もなくて・・・寂しくて・・・
- 愛知県に引っ越して良かったと思っています。帰りたくても帰れない地元・・・

「共有したい」という声かけに飛びついてお手紙プロジェクトを開始

→こんな声 came...

お手紙1

- 知多市高齢者（津波原因。息子の家、岩手県）
- 生きて岩手の土を踏みたいです。来年の春（4月）には帰る予定ですが、来た時のように自分の足で歩いて戻りたいと思っています。
- 早く友達と故郷の言葉で話がしたいと思っています。春が待ち遠しいです。
- 代筆 嫁

お手紙2

- 一宮市30歳台。(原発原因。親元。子どもと二人。福島県郡山市)
- 主人は、仕事、家のローン、福島に住む主人の両親への責任を感じており、話し合いはいつも平行線です。
- 震災で大きな被害にあわれた方々の事を思えば、家族皆が無事でいられるだけでも感謝すべきだと思います。

東北3県だけでなかった

◆関東の方が多かった

- 福島県 11通
- 岩手県 5通
- ★茨城県 5通
- 宮城県 1通
- ★栃木県 2通
- ★千葉県 1通
- ・不明 1通

◆高齢者の声が多かった

「津波」が6名、内1名50歳代、5名が高齢者
「原発」が20名

その他のお手紙から見たこと

- 瀬戸市に避難されていらっしゃる86歳の津波被害者の女性からの手紙
- 足手まといになるので我慢します・・・
- 「閉じこもり→孤立→孤独死」＝関連死。折角助かった命をこんな最悪の結末を迎えることのないようにしたい。
- 人と接することが一番の薬。
- 移動ボランティアを募っています

お手紙プロジェクトの波及

◆冊子作成◆

◆ゆるりっと会◆

◆移動ボランティア◆

◆就労支援活動◆

◆サークル活動◆

◆避難者自身による支援◆

**平成24年度の
主な活動は**

支援法を生きた制度に！

- どこから避難されてきた方もかけがえのない大切な方です。「区域外避難」の方には権利が薄い。それは間違い！
- 「原子力事故による子ども・被災者支援法案」という「理念法」が成立したので、生きた制度に反映されるように働きかけたい。

一人ひとりを大切にした パーソナルサポート活動を展開します

具体的には・・・

- ◆お手紙活動(心の支え合い)→冊子に
- ◆サークル活動(ボランティア、趣味、生きがい)支援
- ◆就労支援活動(生きがい、プライド、生活費)
- ◆原発賠償支援
- ◆避難者自身による支援を！
 - ・交流会呼びかけ、電話、訪問を自分たちで！
 - ・企画も自分たちで作ろう！

●地域での行政・市民・専門家・避難者自身の支援活動ができるように・・・

平成 24 年度 愛知県被災者支援センターが取り組む事業について

(1) 市町村及び地域における受入被災者支援体制の構築支援

- ① 市町村に対して個別訪問を行い、昨年度の実績報告や被災者に関する個別情報を提供しながら、原則として市町村が主体となった支援体制の構築を支援する。
- ② 上記に関わらず、必要に応じて県内を複数の地域（名古屋、尾張（海部・知多）、西三河、東三河）に分けた当該地域単位での支援体制の構築を支援する。また市町村に対する愛知県被災者支援センター内の主な担当は NPO の地域性を考慮して以下の通りとし、当該市町村の社会福祉協議会や地域支援団体等にも参画・協力を要請するなど、当該市町村にとって一番効果的な支援体制の構築を考える。

NPO	地域	備考
レスキューストックヤード	名古屋、尾張（海部・知多）	名古屋は東日本大震災ボランティアセンターなごやと連携
ボラみみより情報局		
NPO 愛知ネット	西三河、東三河	岡崎まち育てセンターりたは岡崎市中心
岡崎まち育てセンターりた		

- ③ 市町村の見守り活動等の実施協力に中心的な役割を担い、人材の養成を行うため、上半期に 1 回、下半期に 2 回の研修会を実施する。
- ④ 市町村が見守り活動等を実施する場合には、要請に基づき、被災者に有為な専門家等の派遣調整を行う。専門家等の候補は今年度実績を基に以下のメンバーが考えられる。

弁護士、司法書士、社会保険労務士、税理士、臨床心理士、行政書士、医師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、健康管理に関する専門家、就労支援に関する専門家など

(2) 受入被災者への情報提供を始めとする、受入被災者の避難生活の安定に資する支援事業

- ① 昨年度同様、時節のトピックや避難者情報などを盛り込んだ機関誌「おあぞら」を発行する。また、被災地の地元新聞の切り抜き情報、後述する各種支援物資やイベントへの招待等の情報も同封する。
- ② 受入被災者相互及び受入被災者と各種支援組織とが交流する場を提供する。
- ③ 上記と合わせて、受入被災者の抱える様々な諸問題に対処するため、各種専門家の派遣手配、相談窓口の開設、相談の開催等を行う。
- ④ 個々の受入被災者の実状に配慮し、受入被災者の生活再建に向けた個別支援に心がけるため、以下の専門家や支援者で構成するパーソナルサポート支援チームを構成する。月 2 回程度の会議を行い、諸問題の課題解決や課題提起、提案を行う。

愛知県弁護士会、愛知県司法書士会、法テラス愛知、愛知県社会福祉協議会、愛知教育大学心理相談室、大学生協、医療生協、名古屋大学（社会学黒田研究室）、総務省行政相談室、コープあいち、レスキューストックヤード、その他ボランティア等

(3) 市町村及び地域における受入被災者のニーズ把握及び受入被災者の孤立防止のために行う事業の実施支援

- ① 1-①で示した情報提供および、2 で実施する交流会等で知り得た受入被災者の生活状況や課題等を当該受入被災者の居住する市町村に伝え、支援につなげる。
- ② 市町村及び地域が 2 に掲げる事業を実施する場合にその実現に向けた協力を行う。

(4) 県民、企業等からの受入被災者への各種支援に係る申し出内容の実現協力

- ① 県民、企業等からの生活支援品の提供及び元気回復に資するイベントへの招待等、各種の申し入れに対応する。
- ② 受入被災者全世帯を対象とする物品等の提供があった場合には、生協やボランティア等の協力によりできる限り個別訪問し、直接お届けすることで感じる会話の抑揚や顔色、身だしなみや健康状態など、暮らしの実態等について知り得た情報を 3-①で活用する。

(5) その他

- ① 愛知県被災者支援センターの開設業務
 - ・ 設置場所：愛知県東大手庁舎 1 階 会議室 C
 - ・ 開設時間：原則として月曜日から金曜日の午前 10 時から午後 5 時までとし、特別に必要な場合は土日、祝日も開設することとする。
- ② ホームページを開設し、市町村、被災者、支援者等が必要とする情報を提供する。

※ 個人情報の扱いについては、効果的な支援の実施のため、関係者間で個人情報の共有に努めると同時に、個人情報に関する法令等を遵守し、個人情報の適切な管理に十分配慮し、本事業で個人情報を扱うすべての者に対して、その取り扱いに関する誓約書に署名させるなど、事業の実施に携わる職員等が業務上知り得た秘密を他に漏らさぬよう留意する。

○スケジュール

事業	月	2012								2013		
		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1-①	市町村個別訪問	●	●	●								
1-②	地域別体制構築	●	●	●								
1-③	人材の養成			●			●			●		
1-④	専門家派遣	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
2-①	あおぞら発行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2-②	交流の場	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	●	随時
2-③	相談の開催	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
2-④	PS 支援チーム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3-①	市町村への伝達	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
3-②	市町村への協力	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
4-①	各種申し入れ	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
4-②	全世帯配布				●					●		
5-①	センター開設	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5-②	ホームページ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

■愛知県被災者支援センター

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸 3-2-1 愛知県東大手庁舎 1 階
 電話:052-954-6722 FAX: 052-954-6993 E-mail:center@aichi-shien.net

愛知県被災者支援センター運営委託：レスキューストックヤード（総括）、ボラみみより情報局、岡崎まち育てセンター・りた、NPO 愛知ネット（昨年度より継続）、協力：愛知県社会福祉協議会、コープあいち、所管：愛知県地域支援対策本部被災者受入対策プロジェクトチーム

平成23年度愛知県被災者支援センター業務実績

	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間 実績	
	事項	実績	事項	実績	事項	実績	事項	実績	事項	実績	事項	実績	事項	実績	事項	実績	事項	実績	事項	実績		
① 交流会等	交流会の開催	19日豊橋市 7世帯17人		9日昭和区 9世帯19人 30日一宮市 2世帯3人		6日岡崎市 30世帯105人 21日南区 9世帯27人 28日天白区 9世帯28人		4日半田市 7世帯17人 17日津島市 5世帯9人 18日中区 3世帯6人		29日日進市 21世帯67人		5日安城市 8世帯22人 6日東区 10世帯31人 6日長久手町 14世帯80人 12日一宮市 11世帯29人 19日津島市 1世帯2人		11日緑区 17世帯54人 18日瑞穂区 7世帯20人 25日南区 12世帯40人		22日東区 17世帯41人		12日小牧市 21世帯58人 18日豊橋市 8世帯15人 19日瑞穂区 8世帯17人 25日中区 56世帯139人		3日豊田市 20世帯61人 18日犬山市 14世帯36人 18日大府市 1世帯3人 18日瑞穂区 6世帯15人 25日弥富市 15世帯43人	28回 延348世帯 延1,004人	
② 情報便の送付	定期便の送付	第1号	30日	第2号 第3号	11日 25日	第4号 第5号	10日 25日	第6号 第7号	9日 26日	第8号 第9号	11日 25日	第10号 第11号	10日 25日	第12号 第13号	9日 26日	第14号 第15号	10日 25日	第16号 第17号	9日 26日	第18号 第19号	9日 26日	19回
	臨時便の送付					1日宮城県人会からの案内 17日原発賠償説明会の案内 31日宮城県合同就職面接会案内				14日県被災者用賃貸住宅借上事業の案内 14日石油ストーブの希望募集 26日宮城県人会からの案内		2日暖房器具の希望募集	21日被難者からの手紙(手記)の募集								8回	
③ 生活支援品の提供	企業・団体等からの提供物資			炊飯器 扇風機 掃除機 電気ポット 空気清浄機 ホームベーカリー オーブントースター アイロン 布団乾燥機 マルチグリル 電気ケトル ベビーベッド 各種タオル	28台 87台 5台 2台 3台 2台 2台 2台 1台 1台 2台 4台 260枚	紙おむつ ベビーチェア 扇風機 自転車	67箱 27台 3台 2台			カーテン 紙おむつ	98組 110箱	掃除機 石油ストーブ カーテン 電気あんか 石油ファンヒーター ホットカーペット	47台 109台 17組 3個 6台 7台	石油ストーブ 石油ファンヒーター ガスファンヒーター ホットカーペット 電気こたつ 電気ストーブ セラミックヒーター 加湿器 衣料品 ランドセル カーテン	10台 50台 46台 68台 76台 1台 1台 1台 10着 1個 20組	新米 ホットカーペット ガスファンヒーター	430件 1台 1台	新米 毛布 加湿器 石油ストーブ 電気ストーブ 電気毛布 膝掛け電気毛布 足元ホットカーペット 石油ファンヒーター ガスファンヒーター ボックスティッシュ	107件 2枚 2台 5台 2台 29枚 3枚 3台 1台 7台 8箱		34品目 1,780点	
	ニトリ提供の布団セット相談対応	センター開設以後、市町村の要請に応じて随時払い出し																				
④ 相談、情報提供	招待イベント等の案内(主なもの)	ディズニーオンアイス 劇団四季公演 岡崎花火大会 豊田花火大会 県美術館棟方志功展		連合あいちクラシックコンサート		ふるさと全国県人会まつり 名鉄百貨店大トリックアート展 ドラゴンズ野球観戦 あいち国際女性映画祭 防災フェスタ 愛ファザWalk		シルク・ドゥ・ソレイユ F1日本GPパドック招待 松本道子バレエ団公演		東北支援ハロウィンパーティー FIFAクラブワールドカップ 名古屋観光ホテル「サンタからの贈り物」 MARUWAクリスマスコンサート		松本道子バレエ団公演 ショートトラックスケート競技会 ゆめリンク愛知県体開会式 ふわふわワールドinドーム		復興支援企画「2011年の手紙」スポーツフェスティバル・コンサート 稲垣潤一コンサート 春日井男声合唱団演奏会 宮城県人会総会・懇親会		愛・地球博記念合唱団チャリティコンサート 2014FIFAワールドカップ・ブラジルアジア3次予選 前進座名古屋特別公演		教西寺3.11追悼大会 願入寺東日本大震災支援行事 3.11揚がれ!希望の凧in愛知 チェロの森2012コンサート 愛×想ありがとうライブ 半田少年少女合唱団定期演奏会		愛知県護国神社防災講話		
	イベントへの参加、会議の開催等(主なもの)					26日被災者支援に関する市町村担当者等会議 27日原発事故賠償制度説明会		24日防災フェスタ				13日あいち防災フェスタ		14日被災者支援に関する市町村担当者等会議 17日湯浅誠氏講演会 & なんでも無料相談会		28日原発事故賠償制度説明会		19日原発事故賠償制度説明会		21日大震災・原発事故による広域避難とパーソナル支援		
⑤ その他	パーソナルサポートチーム活動(生協、弁護士会、司法書士会等の支援組織等との定期的な情報共有、意見交換(隔週開催))																					

※ 3月実績については一部未定のものがある。